

みずほマーケット・トピック(2023 年 6 月 23 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、内外金融政策の姿勢が意識される中、円売りが強まり年初来高値を更新した。週初19日、141.86円でオープンしたドル/円は、日本株の軟調推移を受け141円台前半へじり安推移。海外時間は米国休場の中、ユーロ/円の上昇に合わせ142円付近に反転上昇した。20日、ドル/円はドル買い相場の中、142円台前半に続伸。海外時間は、本邦閣僚の円安けん制発言が意識されたことや、米金利低下を受け一時週安値となる141.22円に下落した。21日、ドル/円は植田日銀総裁のハト派発言で円が売られ、142円付近に上昇。海外時間は、パウエルFRB議長の下院議会証言の原稿が公表されると、そのタカ派な内容を受け、米金利動向に合わせ142円台前半に続伸。その後、パウエル議長の発言内容や良好な米国債入札の結果を背景に、米金利反転に合わせ141円台後半に値を戻した。22日、ドル/円は材料に欠ける中、141円台後半でレンジ推移。海外時間は、ノルウェー中銀や英中銀が市場予想を上回る幅の利上げを実施する中、良好な米経済指標も相まって米金利は上昇、ドル/円も7か月ぶりの高値となる143.23円に急伸した。本日のドル/円は、引き続き前日の高値付近での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、米金利低下を受け、一時1.10を突破も、その後は下落に転じた。週初19日、1.0941でオープンしたユーロ/ドルは、米国休日で材料難の中、ドル買い相場となり1.09台前半でじり安推移した。20日、ユーロ/ドルは、独5月生産者物価指数の弱い結果を受け、独金利低下に合わせ一時週安値となる1.0891に続落した。21日、ユーロ/ドルはナゲル・独連銀総裁が域内の労働賃金上昇によるインフレ長期化の可能性を示唆し、夏場における金融引き締め継続の観測が強まると米独金利差は縮小、1.10を目指し上昇する展開となった。22日、ユーロ/ドルは独金利上昇を受け一時1か月半ぶりの高値となる1.1012に続伸も、その後はドル買いが強まる中、1.09台半ばに反落した。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.09台半ばでの取引となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		6/16(Fri)	6/19(Mon)	6/20(Tue)	6/21(Wed)	6/22(Thu)
ドル/円	東京9:00	140.27	141.86	141.92	141.38	141.72
	High	141.91	142.00	142.26	142.37	143.23
	Low	139.85	141.45	141.22	141.29	141.63
	NY 17:00	141.88	141.99	141.45	141.90	143.14
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0947	1.0941	1.0925	1.0920	1.0991
	High	1.0970	1.0946	1.0946	1.0991	1.1012
	Low	1.0918	1.0908	1.0891	1.0906	1.0949
	NY 17:00	1.0944	1.0921	1.0916	1.0987	1.0955
ユーロ/円	東京9:00	153.50	155.19	155.10	154.36	155.73
	High	155.20	155.35	155.38	155.90	156.93
	Low	153.12	154.65	154.07	154.32	155.61
	NY 17:00	155.20	155.08	154.37	155.89	156.77
日経平均株価		33,706.08	33,370.42	33,388.91	33,575.14	33,264.88
TOPIX		2,300.36	2,290.50	2,283.85	2,295.01	2,296.50
NYダウ工業株30種平均		34,299.12	-	34,053.87	33,951.52	33,946.71
NASDAQ		13,689.57	-	13,667.29	13,502.20	13,630.61
日本10年債		0.40%	0.39%	0.38%	0.37%	0.37%
米国10年債		3.77%	-	3.72%	3.72%	3.80%
原油価格(WTI)		71.93	-	71.19	72.53	69.51
金(NY)		1,971.20	-	1,947.70	1,944.90	1,923.70

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、30日(金)に5月米個人消費支出(PCE)デフレーターが公表される。4月の総合ベースの結果は+4.4%(前年比、以下同様)と市場予想の+4.3%を上回り、3月の+4.2%から伸びが加速。コアベースでも+4.7%と市場予想および3月の+4.6%を上回った。FRBが重視する住宅を除くコアサービス価格も、ブルームバーグの試算によれば+4.6%と高水準で推移している。かかる中、FRBは6月会合にて、本年のコアPCEの見通しを従来の+3.6%から+3.9%に引き上げた。パウエルFRB議長も会見で、コアインフレのさらなる下落には時間を要すると指摘した。利上げ再開の可否は物価・賃金動向に左右されるだろうが、今週の議会証言の内容を踏まえてもFRBのハト派転換は遠いと見られる。なお、ブルームバーグの事前予想では、5月の結果に関し総合ベースで+3.8%、コアベースで+4.7%と見込んでいる。
- 欧州では、30日(金)にユーロ圏6月消費者物価指数(HICP、速報)が公表予定。5月の結果(確報)は総合ベースで+6.1%(前年比、以下同様)と4月の+7.0%からは大きく伸びが鈍化。一方、エネルギー、食料品、アルコール、タバコを除いたコアベースでは+5.3%と高水準を維持。エネルギー価格下落に伴い総合ベースでは鈍化が鮮明も、賃金上昇圧力の残存がコアベースの鈍化の遅れに寄与している模様だ。6月ECB政策理事会においても、コアHICPの見通しに関し23年・24年がそれぞれ+0.5%も上方修正されている。ラガルドECB総裁もこれに関し「不十分」としており、7月会合での利上げは既定路線として、データ次第では9月会合での利上げ実施も視野に入る。なお、ブルームバーグの事前予想では、6月の結果(速報)に関し総合ベースで+5.6%、コアベースで+5.3%と見込んでいる。

	本 邦	海 外
6月23日(金)	・5月全国消費者物価指数 ・6月製造業/サービス業PMI(速報)	・ユーロ圏6月製造業/サービス業PMI(速報) ・米6月製造業/サービス業PMI(速報)
26日(月)	・5月企業向けサービス物価指数 ・日銀金融政策決定会合 主な意見(6月会合分)	・独6月IFO企業景況感指数
27日(火)	・1～3月期資金循環統計 ・4月景気動向指数(確報)	・米5月耐久財受注(確報) ・米4月FHFA住宅価格指数 ・米5月新築住宅販売件数 ・米6月コンファレンスボード消費者信頼感
28日(水)	—————	・独7月GfK消費者信頼感 ・米5月卸売在庫(速報)
29日(木)	・5月小売売上高 ・6月消費者態度指数	・ユーロ圏6月消費者信頼感(確報) ・独6月消費者物価指数(速報) ・米1～3月期GDP(確報)
30日(金)	・5月失業率/有効求人倍率 ・5月鉱工業生産(速報) ・東京6月消費者物価指数	・ユーロ圏6月消費者物価指数(速報) ・米5月個人所得/支出 ・米5月個人消費支出デフレーター ・米6月ミシガン大学消費者マインド(確報)

【当面の主要行事日程(2023年7月～)】

FOMC(7月25～26日、9月19～20日、10月31日～11月1日)

ECB政策理事会(7月27日、9月14日、10月26日)

日銀金融政策決定会合(7月27～28日、9月21～22日、10月30～31日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年6月22日	ECBは利上げ停止後に何をするとするか
2023年6月21日	「Brain freeze(思考停止)」と研究開発サービス赤字
2023年6月20日	「2030年までに対内直接投資残高100兆円」の現実味
2023年6月19日	日本、「監視リスト」除外の読み方～国力低下の象徴～
2023年6月16日	週末版(ECB政策理事会を終えて～we're not at destination～)
2023年6月15日	FOMCを終えて～追い詰められる円高見通しと年内利下げ～ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年5月分)
2023年6月14日	日銀はいつ動くのか～円安抑止策としてのYCC修正可否～
2023年6月13日	家計金融資産の「開放」は何を意味するか～骨太の方針～
2023年6月12日	FRBは他国・他中銀から影響を受けるのか？
2023年6月9日	週末版
2023年6月8日	本邦4月国際収支統計を受けて～「新しい赤字」の影～
2023年6月7日	ユーロ圏のインフレ期待について～6月会合プレビュー～
2023年6月6日	「弱い円」への諦観は日本人を動かすか？
2023年6月5日	米5月雇用統計を受けて～遅く遅く年内利下げ～
2023年6月2日	週末版(コアベースでも鈍化し始めたユーロ圏インフレ率～ハト派転化には十分と言えず～)
2023年6月1日	FRB、6月利上げ見送りの受け止め方～円高到来か？～
2023年5月30日	ユーロ圏の賃金・物価情勢～賃金は峠、エネルギー環境は脆弱～
2023年5月26日	週末版(32年連続世界最大の対外純資産国の意味～過去最高を記録した直接投資比率～)
2023年5月24日	構造的に薄れるPPPを見る意味～「成熟した債権国」と共に～
2023年5月23日	「世界中が欲しがらる財・サービス」は「高嶺の花」～「弱い円」の価値～
2023年5月22日	資産価格が上がっているのか、円が下がっているのか
2023年5月19日	週末版
2023年5月18日	1～3月期GDPを受けて～ベントアップ需要を阻む円安～
2023年5月17日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年4月分)
2023年5月16日	4月国内企業物価指数を受けて～変化率と水準の違い～
2023年5月15日	新しい外貨流出源～デジタル・コンサル・研究開発～
2023年5月12日	週末版(米連邦債務上限問題について～政府機関閉鎖は一時的な円高材料に～)
2023年5月11日	3月国際収支統計を受けて～インバウンドの功罪～
2023年5月9日	ECB政策理事会を終えて～持続する利上げ路線～
2023年5月8日	FOMCを終えて～利上げ停止でも円安持続という現実～
2023年5月2日	円相場の現在地～下がり続ける購買力、最強通貨はフランに～
2023年5月1日	植田体制初会合のレビューと円相場への影響
2023年4月28日	週末版
2023年4月26日	ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理
2023年4月25日	日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～
2023年4月24日	ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー
2023年4月21日	週末版(インバウンドの現状と展望～量、質ともに復調しつつあるインバウンド需要～)
2023年4月20日	本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～
2023年4月18日	EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～
2023年4月17日	GFSRも重要性を訴える地経学的な思考 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年3月分)
2023年4月14日	週末版(FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見直しへの影響はあるか？～)
2023年4月12日	変わる直接投資とスロー・バリゼーション(slowbalization)
2023年4月11日	植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意
2023年4月10日	第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～
2023年4月7日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～)
2023年4月6日	次の危機はCRE危機か？～ECBの警鐘～
2023年4月4日	日銀短観3月調査を受けて～深刻さ極まる人手不足～
2023年4月3日	ユーロ圏3月消費者物価指数(HICP)の読み方
2023年3月31日	週末版
2023年3月30日	第1四半期の総括と今後の展望～円高始まらず～
2023年3月28日	ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年3月24日	週末版(鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～)
2023年3月23日	FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～
2023年3月22日	年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～
2023年3月17日	退路を断ったECB～自信の誇示を優先～ 週末版
2023年3月16日	ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～
2023年3月15日	企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～
2023年3月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年2月分)
2023年3月13日	先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～
2023年3月10日	SVB破綻、ドル/円相場見直しへの影響
2023年3月8日	週末版(1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～)
2023年3月7日	1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～
2023年3月6日	FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～
2023年3月3日	日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望
2023年2月28日	週末版(賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～)
2023年2月27日	ECBのバランスシート政策について～状況整理～
2023年2月24日	植田総裁候補の所信聴取を受けて 週末版
2023年2月21日	利上げ減速のイメージが湧かないユーロ圏
2023年2月20日	現実味増すインフレ長期化～円安シナリオの再起動～
2023年2月17日	週末版(本邦1月貿易統計を受けて～史上最大、再び～)
2023年2月15日	本邦10～12月期GDP～3年経ってもコロナ前～
2023年2月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年1月分)
2023年2月13日	日銀、植田新体制への所感～Q&A方式での整理～
2023年2月10日	週末版
2023年2月9日	ユーロ圏、インフレ期待の現状～pivotは支持されず～
2023年2月8日	2022年の国際収支統計を受けて～意外な伏兵～
2023年2月7日	日本はドイツに追い抜かれてしまうのか～何が違うのか～
2023年2月6日	IMF見直し上昇修正と為替見通しの関係について
2023年2月3日	週末版(ECB政策理事会を終えて～顕著に改善するユーロ相場の取引環境～)
2023年2月2日	FOMCを終えて～ドル/円見直しに影響なし～
2023年1月30日	23年、最初の1か月を終えて～言うほど進まないドル安～
2023年1月27日	週末版(当面のECBの金融政策運営の考え方～「追い風」を得てタカ派に持続性～)
2023年1月25日	神風に救われたユーロ圏経済～最悪からの復活？～
2023年1月24日	「投機の円買い」vs.「実需の円売り」の行方
2023年1月23日	日銀タカ派とFRBハト派の併存は可能なのか？
2023年1月20日	週末版(史上最大の貿易赤字をどう捉えるか～輸入増加の次は輸出減少に？～)
2023年1月19日	日銀政策決定会合を受けて～現状維持とも言い切れず～ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年12月分)